



PRESS RELEASE

新事業開発・アライアンス助成事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※は、新事業開発・アライアンス助成事業において、4件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、支援申し込みは随時ホームページで受け付けており、次回の採択決定は12月の予定です。

※（社）東北経済連合会が昨年4月に設立した東北地域の産学連携等の支援や、企業のマーケティング、知的財産等の事業化支援を行う支援センターです。

記

- 石巻地域産学官グループ交流会自動車関連産業集積部会（宮城県石巻市、部会長：山本憲一）
- ・テーマ：香り長持ちインテリジェント芳香器
 - ・支援先：石巻自動車関連集積部会、河北ライティングソリューションズ(株)、(株)モリス、石巻専修大学
 - ・支援先概要：石巻自動車関連集積部会（平成18年設立、参加企業21社）
河北ライティングソリューションズ(株)（平成18年設立、資本金100百万円、従業員115名）
(株)モリス（平成7年設立、資本金62百万円、従業員7人）
 - ・内容：石巻地域産学官グループ交流会の自動車関連産業集積部会は、石巻市とその近郊の企業、石巻専修大学、石巻市、その他団体が、産学官連携による石巻地域の自動車技術の向上を目的として、平成18年9月に発足させた組織である。
本研究では、同部会の活動の一環として、香り長持ちさせる車載用芳香器を開発する。具体的な開発内容として、芳香剤の露出を断続的にON/OFF制御することで、嗅覚が鈍って香りを感じなくなる生理現象を克服し、連続的に香りを感じることができるような、システムの開発・実用化を行う。



■あおもり藍産業協同組合（青森県青森市、代表理事：吉田久幸）

- ・テーマ：青森独自の染料化技術を核とするあおもり藍ブランド商品の開発
- ・支援先：あおもり藍産業協同組合（青森県青森市）、青森県産業技術センター工業総合研究所、大和化学工業(株)（東京都）
- ・支援先概要：組合員企業（株）アプティマルワ（繊維製品製造）、(株)青森豊成（印刷業）
近江刺繍（繊維製品製造）、(有)マルミ電設（設備工事業）
平成18年設立、出資金80万円、従業員1名
- ・主力製品：スペースシャトル搭載品等に採用されたあおもり藍ブランド商品
- ・内容：あおもり藍産業協同組合は、青森産藍を原料とした製品の産業化・特産品化を図ることにより、地域経済の活性化や地域雇用の創出を目的に、異業種の4社によって平成18年9月に設立された組織である。
本研究では、同組合がこれまで取り組んできた、藍の微粒子化技術（藍の染料の製造工程の大幅短縮）、堅牢性向上を進展させ、色落ち・色移り・変色しない新たな藍染め技術の確立に取り組む。

■株式会社パルメソ（新潟県長岡市、代表：松原亨）

- ・テーマ：高効率発電用機器構造部材の微視損傷検出装置
- ・支援先：(株)パルメソ(新潟県長岡市)、東北大学工学部ナノメカニクス専攻横堀壽光研究室
- ・支援先概要：(株)パルメソ(平成22年設立、出資金13,750千円、従業員6名)
- ・主力製品：MSE (Micro Slurryjet Erosion) 事業硬質薄膜の膜質評価装置の製造・販売
- ・内容：ガスタービンなどの翼に使用される金属部材は、高熱・高湿度下での高速回転という過酷な条件下で使用されるため、金属疲労が大きな課題である。万が一、翼が破損に至ると、人的被害の他、大きな経済損失が発生する可能性が高いため、定期点検が必要であるが、その診断には時間とコストがかかるため、短時間に低コストで、正確な診断を行う手法の確立が求められている。
東北大学横堀研究室では、主に火力発電に用いられる高効率ガスタービン等の微視損傷(目視で確認できないほど微小な μm オーダーの損傷)を走査型電子顕微鏡等を用いて観察し、損傷の発生と材料硬度の相関、破損への進展に至るまでのメカニズム、その予測手法の確立等の研究で成果を上げている。そこに(株)パルメソが開発した、微粒子を噴射して表面強さを計測するMSE試験法(世界で唯一)を適用し、これまで計測が難しかった微視損傷領域の細かな金属強度の分布を計測することで、短時間でより高度かつ正確な損傷診断法の確立を目指す。この実現により、火力発電機器の信頼性向上・高寿命化が期待でき、電力の安定供給・経済性向上に寄与する。

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 西山

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11階

(社団法人 東北経済連合会 事務局内)

Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055

<http://tokeiren-bc.jp/>



■株式会社クラーロ（青森県弘前市、代表：高松輝賢）

- ・テーマ : 低消費電力型顕微鏡用高輝度照明の開発
- ・支援先 : (株)クラーロ、(株)テクニカル(青森県弘前市)
- ・支援先概要: (株)クラーロ（平成12年設立、資本金 249,120千円、従業員11名）
(株)テクニカル（平成元年設立、資本金10百万円、従業員55名）
- ・主力製品 : バーチャルスライド(顕微鏡画像システム)、関連ソフトウェアの製造・販売
- ・内容 : 病理学の分野で活用されている、顕微鏡画像システムのメーカーである(株)クラーロ社のバーチャルスライドは、病理組織標本の高解像度顕微鏡画像をデジタル化することにより、モニターで簡単に閲覧したり、複数の遠隔地からインターネットを通じて同時に当該標本の観察を可能にするシステムである。
本開発では、標本の色褪せ防止や、省電力化・高効率化に向けた、新しいLED高輝度照明ユニットの開発を行う。

以 上



<参 考 1 >

◇過去の支援案件の紹介

- (有)ハード工業（青森県八戸市）、横山嘉彦東北大学金属材料研究所准教授
 - ・支援テーマ：高速燃焼流を用いる金属粉末の製造技術と装置の開発
 - ・支援期間：平成23年7月～平成24年6月
- (株)コンド電機（福島県石川郡浅川町）東洋システム(株)（福島県いわき市）
 - ・支援テーマ：2人乗り電気自動車の開発
 - ・支援期間：平成23年7月～平成24年6月
- 秋田産業技術センター（秋田県秋田市）、東洋ドリル（秋田県雄勝郡羽後町）
 - ・支援テーマ：WC-SiC基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発
 - ・支援期間：平成23年10月～平成24年9月
- 大堀相馬焼協同組合（福島県双葉郡浪江町）、福島県ハイテクプラザ
 - ・支援テーマ：大堀相馬焼における代替材料及び新規デザインの開発
 - ・支援期間：平成23年11月～平成24年9月
- 株式会社鈴木酒造店（福島県双葉郡浪江町）、福島県ハイテクプラザ
 - ・支援テーマ：山廃酒母からの有用微生物の分離選択と新商品開発
 - ・支援期間：平成23年11月～平成24年9月
- (株)宮城化成（宮城県栗原市）、蛭名武雄（独）産業技術総合研究所先進機能材料チーム長
 - ・支援テーマ：光透性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発
 - ・支援期間：平成23年11月～平成24年9月
- 野崎淳夫東北文化学園大学教授、(株)アイワ・コーポ（福島県郡山市）
 - ・支援テーマ：特殊濾材を利用した放射能除染機及び濾材カートリッジの開発
 - ・支援期間：平成23年11月～平成24年9月
- 成瀬継太郎会津大学准教授、玉川エンジニアリング(株)（福島県会津若松市）、(株)メカテック(福島県喜多方市)、(株)北日本金型工業(福島県会津若松市)
 - ・支援テーマ：群れ引率制御による水田除草システムのための移動機構の開発
 - ・支援期間：平成24年1月～平成24年12月
- (株)弘前機械開発（青森県南津軽郡田舎館村、代表：都谷森清）、関 秀廣八戸工業大学教授
 - ・支援テーマ：バーチャルスライド装置高速化に向けた微振動性新装置の開発
 - ・支援期間：平成24年3月～平成25年2月
- (株)カサイ（新潟県新潟市、代表：笠井信一）、小林 高臣長岡技術科学大学教授
 - ・支援テーマ：局所的土壌除染技術システムの開発・実証
 - ・支援期間：平成24年4月～平成25年3月
- (株)東和（福島県本宮市、代表：佐藤恵一）、福島県ハイテクプラザ
 - ・支援テーマ：着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発
 - ・支援期間：平成24年4月～平成25年3月

東経連ビジネスセンター 西山

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
(社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>



<参 考 2 >

I. 東経連ビジネスセンターの概要（平成 23 年 4 月設立）

1. 目的

東北 7 県の産学官＋金融が総力をあげて、“Innovation for Growth”をスローガンに東アジアの技術・生産開発拠点の形成を見据えつつ、大震災からの復興等の支援を通して、東北の国際競争力強化及び雇用の創出を図る。

2. 活動期間

5 年間（平成 23 年 4 月～平成 28 年 3 月）

3. 組織形態

東北 7 県の産業支援機関、大学等研究機関、大手企業等を会員とする任意団体

4. 活動経費

年間 9 千万円程度

5. 事務局所在地

東経連事務局内（宮城県仙台市）

6. 主な事業内容

- （1）マーケティング・知的財産事業化支援事業
- （2）産学連携・アライアンス支援事業
- （3）グローバル・ビジネス支援事業
- （4）ビジネス講座事業

II. 新事業開発・アライアンス助成事業

1. 目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北 7 県（新潟を含む）に所在する会社が、産学連携などのアライアンスにより他団体と取り組む共同開発に対して、100 万円の助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。当センターの助成は、研究段階を終了し、新技術開発後の事業化や実用化を目的にした開発試作を対象にしております。

2. 応募資格

（1）企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

- ・代表開発者は、主たる事業拠点を東北 7 県（新潟を含む）に置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であること。ここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。

東経連ビジネスセンター 西山

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階

（社団法人 東北経済連合会 事務局内）

Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055

<http://tokeiren-bc.jp/>



- ・ 1社単独での研究ではなく、共同研究先が1団体以上あること。ここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す。

(2) 開発技術の要件

以下の要件を概ね満たすこと

- ① 自社が保有する新規性・独創性のある技術であること
- ② 大学等、他の団体が保有する技術シーズを活用する場合には、本技術開発における利活用方法、アプリケーション等が新規性・独創性を持っていること
- ③ 食品等、生体に関わるシーズについては、その有効性、安全性等が、公的機関等により科学的に証明されていること
- ④ 類似の技術がある場合には、相対的にその技術の性能が大きく優れていること
- ⑤ アプリケーションの明確化が図られており、1年後に実用化の見込みがある技術であること。ここでいう実用化とは、量産の開始、量産試作品・プロトタイプの開発終了、技術供与の開始、サービス提供の開始などを指す
- ⑥ その技術の実用化により、東北7県（新潟を含む）に所在する応募企業の収益向上が大きく期待できること
- ⑦ 自社のみの利益に止まらず、東北7県（新潟を含む）の産業の発展や公共の利益に寄与すること
- ⑧ 東北7県（新潟を含む）の経済的・社会的発展や、そこに住む人々のモチベーション向上の喚起が期待できるような、話題性のある技術開発であること
- ⑨ 東日本大震災からの復興に資する技術開発であること

2. 助成金額

100万円を限度とする。

4. 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

5. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年4回行います。

以上